



東 橋 日 語

發行人：佐澤英子
 編輯：鄭玉琪
 發行所：台北市中山北路1段
 152號8樓
 電話：02-2537-4888・2711-3788
 網址：http://www.tokyo.com.tw/

第九十八期

2011年08月出刊

しぜん れいぞうこ ひむろ 自然の冷蔵庫「氷室」

文責・高田 ひとみ

あつ なつ れいぞうこ あ かいすう おお かてい だいどころ かなら
 暑い夏は冷蔵庫を開ける回数が多くなりますね。どの家庭の台所にも必ずある
 れいぞうこ たち せいかつひつじゅひん
 冷蔵庫は、わたしたちの生活必需品です。

むかし れいぞうこ じだい にほん ひむろ そうこ へや ふゆ
 昔、冷蔵庫がない時代の日本では、氷室という倉庫のような部屋で、冬に
 ふ ゆき ほぞん なつ こおり みず さけ ひ
 降った雪を保存していました。そして、夏になるとその氷で水やお酒を冷やした
 ごおり つく
 りかき氷を作ったりしたそうです。

ひむろ こおり きちょう かがはん いしかわけん まえだけ
 氷室の氷はとても貴重なもの①だったので、加賀藩（石川県）の前田家では
 まいとしきゅうれき えど とくがわしやうぐんけ こおり けんじやう
 毎年旧暦の6月1日に江戸の徳川将軍家に氷を献上していたそうです。

いしかわけん かなざわし いま ひむろ ひ こおり か
 石川県の金沢市では、今も氷室の日（7月1日）に氷の代わりにまんじゅうを
 た むびやうそくさい ねが いま のこ ふうしゅう むかし ひと ちえ せいかつ ようす
 食べて、無病息災を願っています。今も残る風習から昔の人の知恵や生活の様子
 あつ ひ つづ こおり せいかつ かんしや わす
 がよくわかりますね。暑い日が続いていますが、氷がある生活に感謝する心を忘れ
 す
 ずに過ごしたいもの②です。

【文法解説】

①物事は＋な形容詞＋な＋ものだ。

*もの→指事物。

1. 洗濯機はとても便利なものだ。
2. お金は生活に必要なものだ。

②動詞たい形＋ものだ。

*Aたいものだ。強調A的心情。

1. 健康はいつまでも大切にしたいものだ。
2. 社会のために、いろいろなことをしたいものだ。



あきたかんと 秋田竿燈まつり

文責・渡邊 幸恵

きょうは東北三大夏祭りのひとつとしても有名な、秋田竿燈祭りをご紹介します。
毎年8月3日から6日まで行われる秋田竿燈祭りは、今から200年以上前に始まった古いお祭りで、豊作を祈って行われます。竿燈というのは、長い竿にたくさんのちょうちんがぶら下がっているもの①です。細い竿にたくさんの丸いちょうちんがついている様子は、収穫前の稲穂のようです。大きい竿燈は長さが12m、ちょうちんが46個ついていて、重さは50kgもあるそうです。この竿燈を差し手と呼ばれる人たちがバランスをとりながら手や額、肩、腰にのせます。倒れそう^{たお}で倒れない^{たお}②竿燈は、スリル満点です。また、ちょうちんには火がついたろうそくが入っている^{はい}ので、夜はオレンジ色に光る美しい竿燈を見ることができます。
会場の秋田市までは、東京から新幹線で行けます。秋田にはおいしいお酒も食べ^{よる}るものもたくさんありますから、みなさんもぜひ一度秋田を訪れてみてください。

【文法解説】

①説明したい物事＋というのは＋動詞普通形＋ものだ。

* というのは→提出想説明的事物。

* もの→指想説明的事物。

1. おはぎというのはもち米にうるち米を混ぜて炊いて、軽くついて、あんこなどをつけたものだ。
2. 赤飯というのはもち米に小豆を入れた蒸したものだ。

②自動詞ます形（ます→そうで）＋動詞ない形。

* A そうで A ない。前後使用相同的動詞。

看起來好像 A 但實際上不會發生 A。

* A 可以用（雨が）降る、やむ、晴れる、（火が）消える、寝る…等動詞。

1. 今日は雨が降りそう^{たお}で降らない。
2. 子供が寝^{たお}そう^{たお}で寝ない。



圖片參考

<http://www.city.akita.akita.jp/city/in/cm/kanto/default.htm>

役に立つ文法

文責・桑原 繁雄

みなさん、こんにちは

一つの言葉にはいろいろな意味があります。今回から少し、それらの言葉の使い方について説明しましょう。今回は「足」です。

一、^{あし}足が^{はや}速い→（指走路、跑步的速度快。）

1、佐藤さんは子供のころ、足が速かったそうで、50メートルを6秒で走ったそうだ。

二、^{あし}足が^で出る→（指預算超出、不足。）

1、きのうの加藤さんの歓迎会はみんなが飲みすぎたので、2万円、足が出たそうだ。

三、^{あし}足を^{はこ}運ぶ→（指爲了某目的而刻意去公司等地方。）

1、わたしは契約を取るために、何度もA社に足を運んでいる。

四、^{あし}足→（指交通工具。移動時的方式。）

1、バス、電車などは庶民の足だ。

2、きのうはストでサラリーマンの足が奪われた。

（足が奪われる：是止まる【停止】、利用できない【無法利用】的意思。）

五、^{あし}足を^の延ばす→（指去了比旅行等預定要去的地方還要遠。延長行程。）

1、前回の旅行は少し時間があったので、足を延ばして、日光まで行った。

六、^{あし}足を^ひ引^ば張る→（指對於團體等、部門的全體進行妨礙的人。扯後腿。）

1、うちのチームは佐藤さんの調子が悪いので、佐藤さんがチームの足を引っ張っている。

七、^{あし}足の^ふ踏み^ば場がない→（指房間東西散亂，沒有地方站立。）

1、引っ越したばかりなので、わたしの部屋は今、足の踏み場がない。





まんねんれい かぞ どし 満年齢と数え年

文責・源太 雄三

ねんれい まんねんれい かぞ どし
年齢には満年齢と数え年の2つあります。

にほん いぜん かぞ どし つか いま まんねんれい いっぱんてき こじん
日本では、以前は数え年を使いましたが、今は満年齢が一般的です。わたし個人
かぞ どし な むすめ まん さいはん かぞ どし かんが かつ いちり
は数え年に慣れていません。しかし娘が満1歳半になり、数え年の考え方も一理あ
おも
ると思うようになりました。

かのじょう まえ さんふじんか ちょうおんばけんさ すがた み しんおん
彼女が生まれる前に、産婦人科の超音波検査で、姿を見させてもらったり、心音
き つま て あ うご たし
も聞かせてもらったりしました。妻のおなかに手を当てて、動いているのを確かめた
こともあります。

う い まんねんれい ぎょうせいしよりじょう べんり
生まれてはいないけれども、生きている。満年齢が行政処理上、便利なのはわ
ねはん ねんいじょう
かります。「でもね①、1年半じゃなくて、2年以上いっしょにいるよね。」
こ ねがお み おも
子どもの寝顔を見ながら、つい、そんなことを思いました。

【文法解説】

①A。でもね、B。

* でも→雖然認為A是依照這樣，但是，
以B來說卻是相反。

* ね→跟對方說話的心情。

* よね→主張某事並尋求同意的心情。

1. A: 駅前のラーメン屋もおいしいですね。

B: そうですね。でもね、会社の近くのラーメン屋と比べると
少し味が落ちますよね。

A: そうですね。



東橋日語

■留學先修班 ■基礎班 ■初級班 ■中級班
■高級班 ■研究班 ■能力測驗衝刺班
■寒暑假密集班 ■家教班 ■公司外派
班級眾多，歡迎詢問、插班

<http://www.tokyo.com.tw>



東京外語学園日本語学校

■長期留學：招收1・4・7・10月生
■短期遊學：出發前1個月報名即可成行
■日本研究所專攻班：升學成績斐然，歡迎各
校大學畢業生攻讀深造

<http://www.tgn.ac.jp>